

★ 学校 夜間 崎 釜ヶ崎 復新 7回 松

9月3日

今晚7時より、「喜望の家」階にて テーマ「日雇」で やっつけてきてね仕事!

得意な仕事!

■「これまで、仕事の技術の講習会をやったかどうか」と言つ仲間の声がぬりました。

しかし、話を聞く人のなかなかに見つからぬところもまた下なつてきました。

■そこで、とりあえず今回は、皆に自由「日雇」をやつてきた仕事や、自分の得意な仕事について話し合つてもらいたいと思つています。

復新「釜ヶ崎夜間学校」とは...

我々が釜ヶ崎で、あつたのは日雇労働者として生活していく中で、誰でもがいつかは必ずぶつつかう「一人の問題」とあつた同時「皆の問題」でもある仕事や病気の回復等を皆の力で解決していく

■そのことを通して、今の社会の中で日雇労働者が果たしている役割りが明らかになつて、その道のベテランがして仕事の技術についての話も聞けるのではなつかうと思つています。

いふつて参加して下さい!!

情報を寄せて下さい!!

人夫出しや手配師の話と実際とはちがうことがよくありますが、最近、

為に、先生と生徒の關係でなく、皆が生徒で先生でもあると言つ対等な關係の中で、互いの知識と経験を通して学び合う自由な場です。

是非多くの仲間が参加して下さい。又、運営にも積極的に参加して下さい。

特にひどい人夫出しの現金の現場や、飯場の様子についての情報を寄せて下さい。

集まつた情報は、どうでも知らせませんが、9月17日の夜間学校では、それをもとに話し合いたいと思つています。情報は木曜日の夜間学校か、喜望の家の喫茶室へ持つて来て下さい。是非協力をお願いします。

9月の予定

オ1週 3日(木) 「日雇」をやつてきた

仕事・得意な仕事

オ2週 10日(木) 「運営委員会」

来月の予定と、特にテーマを決めない自由な話し合いです。

オ3週 17日(木) 「人夫出し」最近の現場と飯場の状況

最近特にひどい人夫出しの現場や飯場についての情報交換。

オ4週 24日(木) 「釜ヶ崎の歴史」

大報論を批判的に読む。

(仮称)釜ヶ崎夜間学校ニュース

第46回報告 テーマ「自分の生活史をふり返ってみよう」

「何のために、 追跡調査をしたのか？」 労働者の

今回は、最近出版された「あいりん 人生追跡調査誌」(大阪市立大学社会学部教授 大藪寿一編)を読み、みんなて批判し合いました。この本は、大阪市立大学生20人が、釜ヶ崎に住む労働者を一人づつ対象として、市更相からの資料を基に、その労働者の生まれ、育った家庭環境、生活環境、その人のたどってきた軌跡、現在の状況、問題点等をまとめたものです。みんなて、この本の抜粋を読んだ後、次のような意見が出ました。

「G氏が、なぜに歳頃より働いていたのか、なぜ、鉄工所の見習い工員から建築関係の土工となったのか、当時の社会状況を調べてみれば、少しは分るのではないか。」

「収入の多い現場の仕事を送っている理由、飯場、人夫出しの問題には触れて

いない。それに、賃金が低くても毎月ゴツゴツと働かないのは、幼少の頃より素行がおさまらなかつたからだ」と。

G氏の性格、気質に短絡して結び付けている。同様に、なぜ酒を飲むのか、ということも書いていない。」

「これは、プライバシーの侵害だ！市更相に来ていいる人だけを対象としているので片寄っている。それが、釜ヶ崎全体として見られるという危険性がある。」

「かわれわれと同様に……」と、著者の言葉は、明らかに、釜ヶ崎の労働者は、かわれわれとは違う人間だということを示している。」

「どこまでが市更相からの資料か、著者の推則か、労働者の口から出たことなのか区別がつかない。」

学生が宿題をすますような形で、労働者と信頼関係をもつこともなく、一方的に、個人の軌跡をたどり、推則することは、確かに問題があると思えます。しかし、自分で自らの足跡をたどることは、自分自身を知ることになり、種々な問題を考える手がかりとなり、必要なことだと思います。

自分自身でも、なぜ、ここにいらのか、分らないことがあるのですが……

(仮称)釜ヶ崎夜間学校運営委員会
準備会

西成区萩の茶屋2-18-18
喜望の家内
電話 06(647)3946

●毎週木曜日夜7時〜10時頃まで

